

# 大型クラゲ等有害生物出現調査及び情報提供事業

今村 豊<sup>\*1</sup>・高坂 祐樹・田中 淳也・大水 理晴<sup>\*2</sup>

## 目 的

大型クラゲの出現・分布状況を試験船による洋上調査及び県内漁協・漁業者からの聞き取り等により迅速に把握し、漁業者等に情報提供し漁業被害の軽減を図る。

## 材料と方法

### 1. 洋上調査

試験船開運丸及び青鵬丸により、日本海及び太平洋で目視調査を実施した。

### 2. 出現量調査

県内の漁協から大型クラゲの出現情報を入手し、関係機関へ配信した。

### 3. 標本船調査

新深浦町漁業協同組合所属の小型定置網漁業船を標本船とし、大型クラゲの入網状況を調査した。

### 4. 水温ブイ調査

深浦町新深浦町漁協沖水深 30m 地点の水深 1m 層、10m 層、20m 層に設置している自動観測ブイにより、水温の連続観測を実施した。収集したデータは、関係機関へ配信した。

## 結 果

### 1. 洋上調査

試験船開運丸及び青鵬丸により、本県日本海側の沿岸域から沖合域にかけて調査を実施し、その結果を洋上調査結果として(社)漁業情報サービスセンターへ報告した。

目視観測で大型クラゲが確認されたのは、9月下旬～11月下旬であり、10月下旬に多く目視された。青鵬丸による沿岸域の調査では、底曳網に多数の入網が見られた。

表 1 試験船による洋上調査結果

月日	試験船名	海域	表面水温(°C)	個体数	傘径(cm)	調査方法
9月1～3日	開運丸	日本海	20.5～24.2	0	—	目視
9月30日～10月1日	青鵬丸	日本海	19.3～22.0	10	100	目視
10月6～7日	青鵬丸	日本海	20.0～21.0	2	100	目視
10月17日	青鵬丸	八戸沖	18.2	1	100～150	目視
10月19日	青鵬丸	八戸沖	17.4～17.6	7	100～150	目視
10月23日	青鵬丸	小川原湖沖	17.1～17.2	120	100～150	目視
10月23日	開運丸	太平洋	14.8	2	100	目視
10月23～25日	開運丸	日本海	15.0～19.2	33	100～150	目視
10月24日	青鵬丸	二枚目沖	16.7～17.1	8	100～150	目視
10月25日	青鵬丸	むつ小川原沖	16.6	4	100～150	目視
10月28～29日	開運丸	太平洋	11.2～18.3	4	100	目視
10月30日	開運丸	太平洋	13.4	4	100	目視
11月25～26日	開運丸	太平洋	9.0～14.2	1	100	目視
11月26～27日	開運丸	日本海	10.7～16.2	8	100	目視
11月29日～12月1日	開運丸	太平洋	9.3～14.7	2	100	目視
1月12日	青鵬丸	日本海	11.5～11.6	0	—	目視

\*1 青森県農林水産部水産局水産振興課

\*2(地独)青森県産業技術センター内水面研究所

## 2. 出現状況調査

県内全域の出現状況(日別、漁協別、漁業種別)について、メールやFAX等により情報収集を行った。集計した情報については(社)漁業情報サービスセンターへ報告したほか、当研究所が発行する漁海況情報やHPに掲載し、漁業関係者へ情報提供を行った。

本県での今年度の初出現は8月30日に太平洋の泊沖で確認され、2005年以降、一番早い出現となった。総出現個数は約2,453千個で近年では最大で、出現数の多かった2005年の約1.8倍となった。9月中旬には大量出現が確認され12月中旬まで継続した。その後、急速に減少し、1月下旬にはほとんど出現情報はなくなった(別図1、2)。

## 3. 標本船調査

新深浦町漁業協同組合所属の定置網漁業者1名に依頼し、大型クラゲの入網状況について日報の提出を受け、結果を取りまとめた(図1)。9月中旬に大量出現が確認され、10月下旬に急激に増加し、12月中旬まで継続した。その後、徐々に減少し、1月下旬にはほとんど入網は見られなくなった。

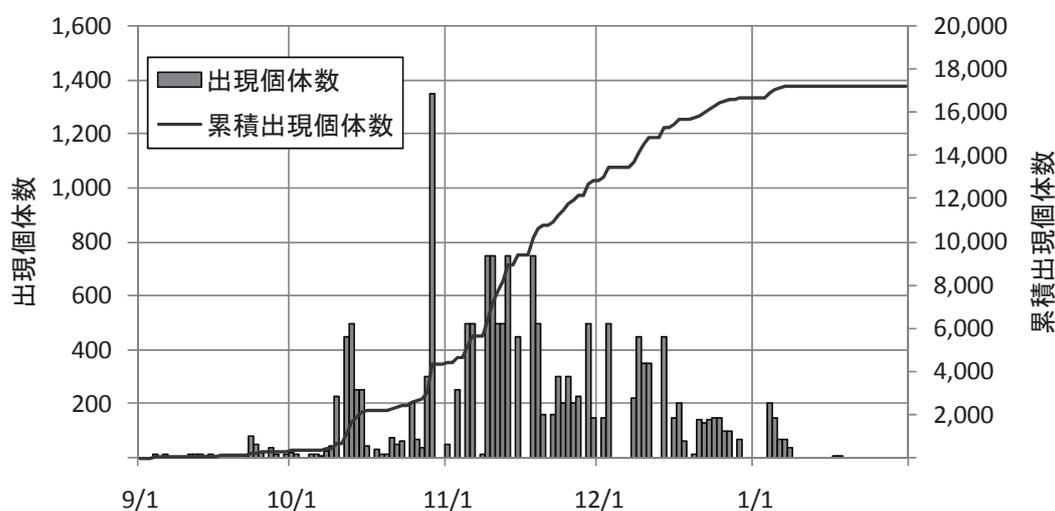


図1 小型定置網における日別出現個体数及び累積出現個体数の推移

## 4. ブイによる水温観測調査

水温観測ブイを深浦町新深浦町漁協沖水深30m地点に設置し、水深1m層、10m層、20m層の水温を観測した(図2)。観測データはEメールにより、(社)漁業情報サービスセンターへ自動送信された。

水深1m・10m・20m層共に8月第5半旬に水温のピークがあり、その後、降温が続いた。ピーク時の水温は1m層で24.0℃、10m層で24.0℃、20m層で23.6℃であった。

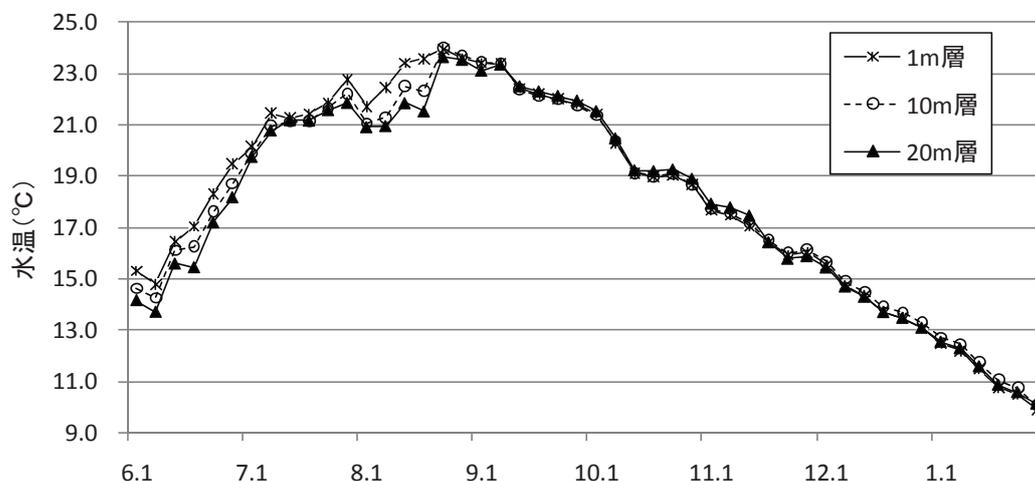
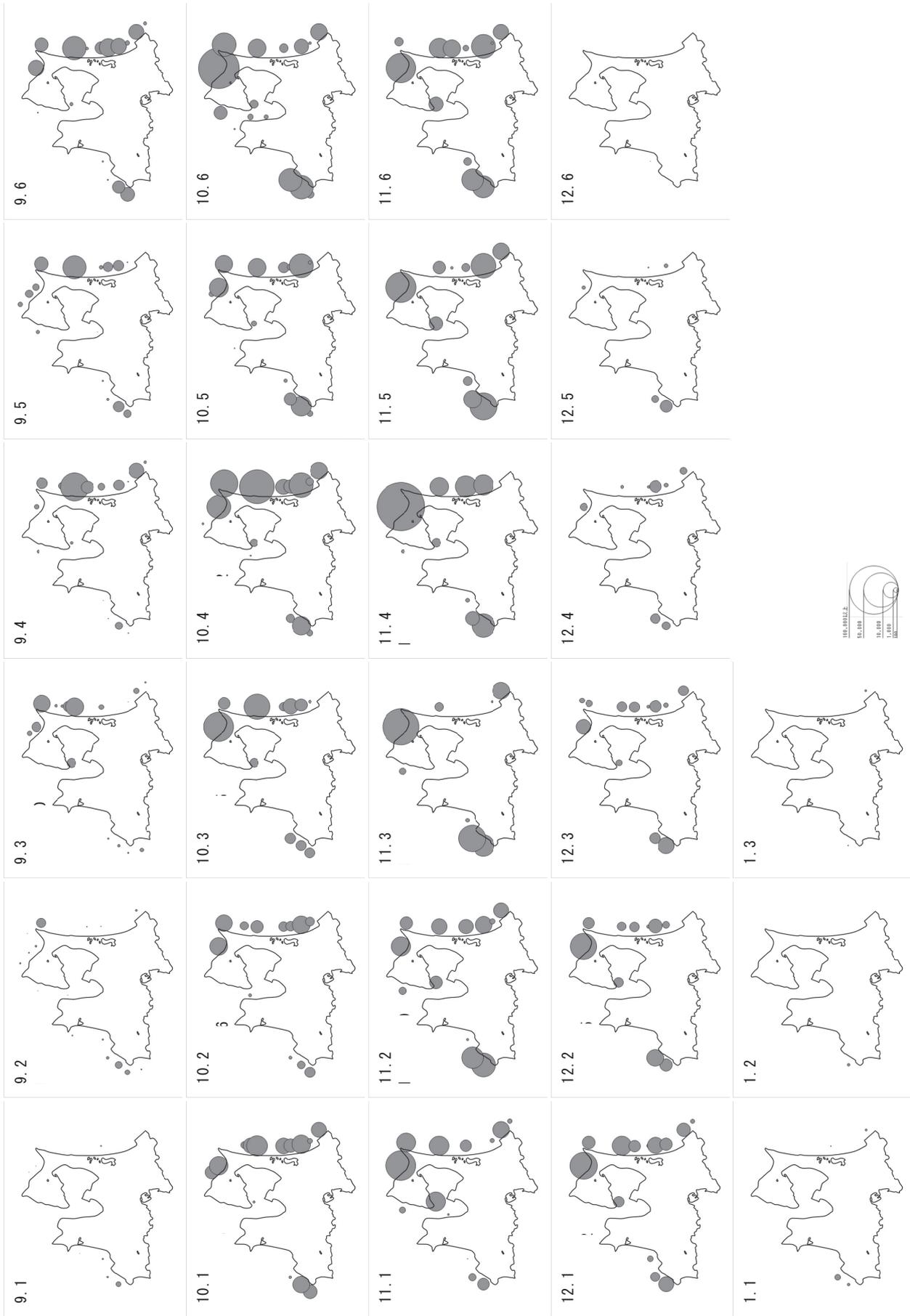
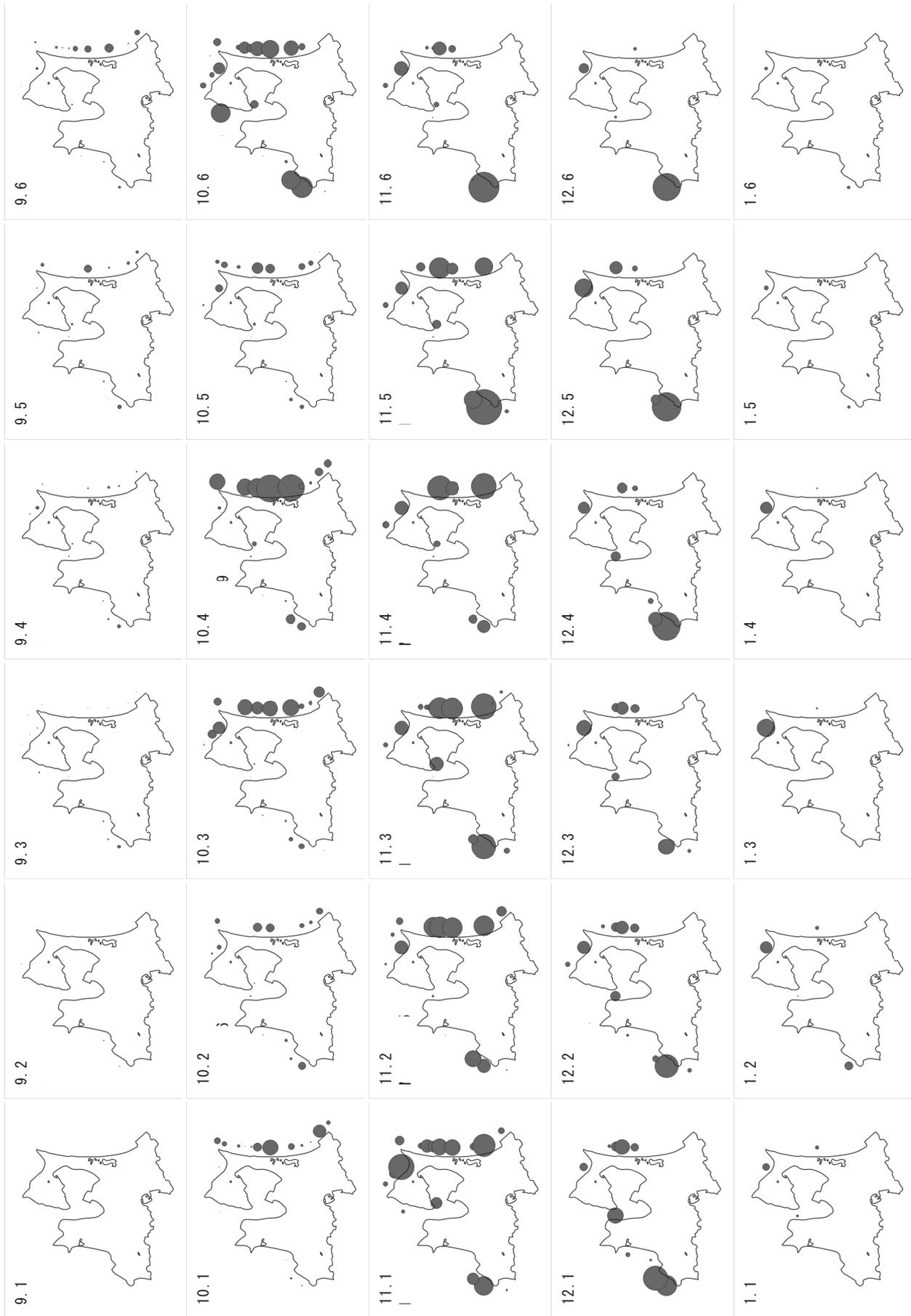


図2 水温ブイによる水深別水温監察結果



別圖1 2009年度半旬別出現狀況



別图 2 2005 年度半年別出現状況